

光西寺だより 第48号

海一味

発行所

大阪市平野区加美北1-25-1

光西寺

Tel 06-6754-6423

<http://www.oct.zaq.ne.jp/kousaiji>

「この一年にありがとう」

光西寺副住職 田中 咀釈

今年も師走を迎えました。この一年私たちにとってすべてが満足に行えたでしょうか。納得のいくように物事が運べたでしょうか。

お釈迦さまの教えの根底には「一切皆苦」、つまり世の中すべてのものは自分の思い通りには決してならないということなんです。だから毎日笑顔ばかりでは過ごせません。

そんな私を支え、励まし、導いて下さるのが、阿弥陀如来さまです。

阿弥陀さまのことを『無量寿経』には、

「まるで雪山のようです。日の光に美しく輝き、きよらかだから。

大地のようです。すべてのものを分け隔てなく受け入れて下さるから。」

きよらかな水の流れのようです。洗いきよめて下さるから。

火の王のようです。罪、闇、悩みを焼き尽くして下さるから。

風のようにです。どんなものにもさまたげられず悠々とすすみ往くから。

雲のようです。目覚めよ、目覚めよと、法雷を放ち私の心を揺り動かして下さるから。

雨のようです。心をうるおし、命をはぐくんで下さるから」

以上はほんの一部ですが、このように素晴らしい阿弥陀さまのお徳を頂けるならば、一切皆苦の今日一日であっても、きつと笑顔で過ごさせていけることでしょう。

お念仏で笑顔の年の瀬を、新春をお迎えください。



合掌

※讚仏偈の意味を知ろう

讚仏偈：「無量寿経」上巻に述べ

られる四言八十句の偈頌

親鸞聖人は、数あるお経の中で

『仏説無量寿経』こそが「真実の教」

であるとお示しになりました。それは、この私の「すくい」が説かれているから、「真実」であると仰せになつておられます。

このお経の中にある『讚佛偈』八十句の偈（讃歌）で、**阿弥陀さまが**

法蔵菩薩であつたとき、師仏である

世自在王仏のお徳を讃え、「どれほどの苦勞があるうとも、すべてのいのちをすくうことができなければ決してさとりを開かない」とい

う誓いが述べられています。

法蔵菩薩が師仏のお徳をほめ讃え

ておられるので『讚佛偈』といい、「嘆仏偈」とも呼ばれています。



かいもんしょうじん

○戒聞精進

戒・聞・精進

さんまいちえ

○三昧智慧

三昧・智慧の徳

いとくむりよう

○威徳無侶

並ぶ者なく

しゅしょうけう

○殊勝希有

すぐれたもう

（続きは次号にて）



年頭法要のお知らせ

新しい年のはじめに

御本尊に御挨拶を！！

◎日時

令和二年一月五日(日)

午後一時三〇分より

*右記の通り年頭法要がございませす。ご参詣お待ちしております。

永代経法要のお知らせ

四月 十八日(土) 一時半

四月 十九日(日) 一時半

講師 鹿児島県 指宿市

真宗興正派・大円寺住職

長尾 敏邦 師

永代経

都市開教三十周年記念事業

記念法要の寄付のお願い

光西寺ではお蔭さまで都市開教三十周年の記念の年を明後年にひかえます。先日より、皆様に趣意書をお送りさせて頂きご寄付をお願いいたしております。

大がかりな記念法要記念事業となりますので光西寺や門信徒会の積立金だけでは乗り切る事が出来ず、門信徒の皆様にも多大なご迷惑とご負担をおかけする結果となり誠に恐縮でございます。微衷をお汲み取り下さいましてご懇志につきましては門信徒の皆様方に一口五千円で出来るだけ多くのご懇念賜りたくご協力下さいますようお願い申し上げます。尚、既にご送金いただいております皆様には心より御礼申し上げます。皆様には心より御礼申し上げます。

合掌

寄付

いつもお寺の前を通り路にされているあるご門徒が趣意書を見られたということが多額の寄付をお納めくださいました。

「往生された坊守さんがいつも優しく声をかけてくれて親切にしてくれたのが嬉しかったです。もうお亡くなりになられて3年以上になりますね。お寺の前を通るたびにいつも掲示板を楽しみにしているのですよ。いろいろ気づかせていただきます。これからお願いますとの思いから私に出来る範囲での寄付をお手伝いする気持ちになりました。」とのことでした。

また違うあるご門徒の方がお手紙を添えてご寄付を届けて下さい

ました。

老婆の年金生活で厳しい生活をしていいますがお寺の事なのでお手伝いさせてもらおうと思っただけ協力させていただきたく。と手紙に書いておりました。

「貧者の一灯」という言葉を思い出します。どんな思いで協力して下さいのかと改めて味わうと本当に心のこもったご寄付に頭が下がります。これからも光西寺の事業に暖かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

合掌



ふれあい旅行参加者募集

一年に一度のふれあい旅行も二
 二回目を迎える事になりました。
 今回は徳島県の鳴門にある大塚国
 際美術館や四国霊場第一番札所霊
 山寺・その他を日帰り参拝予定で
 尚、子供（小学六年生迄）は無料
 ご参加できます。お孫様もお誘い
 のうえ是非ご参加下さい。

行き先
大塚国際美術館
四国霊場第一番札所 霊山寺
その他（未定）
 （日帰りです）

日時 六月七日（日）
 費用 大人 八、〇〇〇円

子供 無料（小学六年生迄）
 （バス代、昼食代・拝観料含）
 募集人員 四十人

*詳細は申込時にお知らせします

大塚国際美術館

霊山寺



二〇二〇年 年回早見表

早いもので令和元年もあともう少
 して終わります。来年年忌に当たっ
 ている方は早めにご連絡下さいま
 すようお願い申し上げます。
 左の早見表を参考になさしてくだ
 さい。

二〇二〇年 年回表	
一周忌	二〇十九年 往生
三回忌	二〇十八年 往生
七回忌	二〇十四年 往生
十三回忌	二〇〇八年 往生
十七回忌	二〇〇四年 往生
二十五回忌	一九九六年 往生
三十三回忌	一九八八年 往生
五十回忌	一九七一年 往生

今月の掲示板

恥ずかしいと

思うことが少なく

なってゆく

それが私は

恥ずかしい

「東井義雄の名言より」

法話と茶話会の開催日

令和二年 副住職法話

三月 六日（金）午後二時

*ご法話のあと、皆さんでお茶しますの
 で気楽にご参加下さい。どなたさまも
 お待ちいたしております。

